
煩惱林

2005 年報恩講号

法光寺

名古屋市昭和区花見通 2-3

〒466-0831 Tel.052-831-5924

報恩講のご案内

遅ればせの秋、ようやく木々も色づいてきました。

今年の報恩講は、昨年に引き続いて 22 日、23 日の二日に渡って、下記のようにお勤めをいたします。特に 22 日はプロジェクターによる映写を使って絵解きを行ないます。ご多忙とは存じますが、ご都合のつく日にちに、あるいは両日共にお参りいただきますよう、ご案内いたします。

● 11 月 22 日（火） 讃仰のの夕べ

午後 6 : 00 お速夜のお勤め

6 : 30 映写による親鸞聖人の生涯

解説と法話 住 職

● 11 月 23 日（祝）

午前 10 : 00 御満座のお勤め

10 : 45 法話「報恩の生活」

講師 伊那 祐諦さん

11 : 30 おと き

13 : 00 閉 講

●参加費 お布施（自由なお志）

毎年のことですが、23 日は名古屋シティマラソンの実施に伴って、交通規制が行なわれます。詳細は新聞等でお確かめのうえ、ご来寺ください。

お寺の縁側で

Q こんにちは。寒くなりましたね。

住 寒くなつたね。秋深しだね。

Q そろそろ報恩講の季節ですよ。

住 そう、うちのお寺ももうすぐだし、二十一日からは本山の報恩講が始まる。

Q 報恩講の日には決まっているのかな。

報恩講はいつ勤めるか

住 親鸞聖人は旧暦の十一月二十八日に亡くなっているから、本山では二十一日から二十八日まで一週間にわたって法要を勤める。これを御正當の報恩講といって決まっている。一般のお寺や別院はその前後に勤めることになっている。たとえば、名古屋別院は十二

月十三日から十八日に勤めている。また、それぞれのお家でも報恩講を勤めることになっていて、これを「お取越し」とか「お仏事」とか呼んでいるのだ。

Q つまり、秋はそこらじゅうで報恩講をやっているわけだ。

住 そうそう、真宗教団は報恩講教団だといわれるぐらいだからね。

報恩講は個人崇拜か

Q しかし、考えてみると本尊は阿彌陀さまでしょう。阿彌陀さまの法要をやるならわかるけど、親鸞聖人の法要ばかり一生懸命やるというのは、一種の個人崇拜じゃないのかなあ。

住 なるほど。確かに阿彌陀さまの法要というのはいないけれど、逆にいえば、

すべての法要は阿彌陀さまを讃える法要でしょう。具体的には、お寺の内陣には阿彌陀さまの木像があり、御内仏の中心には阿彌陀さまの軸が掛かっていて、色々な仏具やお花やお供えもすべて、阿彌陀さまの徳を表している。

お経やその他のお勤めもすべて阿彌陀さまを讃えるもの。つまり、あらゆる法要やお勤めは阿彌陀さまを離れて行なわれることはありませんよ。

Q そうか、だったら親鸞聖人と阿彌陀さまはどういう関係なんだろう。

住 いうまでもなく、阿彌陀さまは人間ではない。阿彌陀如来というように如来だ。では、如来とはなんだというと、真理そのものー本来姿かたちのなものーを、象徴的に姿で表したものだ。この真理そのものが人間と触

れたところに、教えが生まれ、佛教が成立した。その教えをどう受け取るか、いろいろな宗派が生まれたわけだ。

そのうち真宗は親鸞聖人の了解された教えを旨としている。つまり、親鸞聖人を通して阿弥陀如来に出会う道だともいえる。

Q つまり、親鸞聖人を崇拝しているのではなく、親鸞聖人の信仰内容を崇拝しているということ。

住 まあ、そういうことだけだ。崇拝というより、親鸞聖人と対話するといったほうが近いと思うよ。

Q うーん、対話ね。

住 昔から本山の御影堂―親鸞聖人の御木像が安置してあるお堂―は親鸞聖人のお居間だといわれているんだ。聖人と対面して、自身の信仰について懺

悔して、法を聞く聞法の道場だと。それに対して本堂は礼拝の場―阿弥陀さまの徳を讃える場といわれているんだ。

Q なるほど、そうすると報恩講は親鸞聖人と話し合う機会というわけか

住 特に年一回、聖人のご命日に集中してやろうというわけだ。そこで法に出会って生きる喜びに目覚めるということがあって、初めて恩に報いるという思いも出てくる。

Q この教えを伝えてくれてありがとうというわけだ。

住 それ抜きで親鸞聖人はえらいということになれば、単なる個人崇拜。親鸞聖人のおっしゃっておられることは、本当のことなんだと、自分の人生のうえで確かめられれば、おのずから報恩のこころも生まれてくる。

報恩講のことを昔から「信心の溝さらえ」という。自分の生き方を、聖人と対話の中でチェックするのが報恩講と思えば間違いはない。

Q 「信心の溝さらえ」ねえ。心の大掃除のつもりで、参加するかな。

住 家と違って、心は簡単に掃除できないけど。

改修工事年末に完工

お寺の改修とエレベーター取り付けのための玄関新築の工事がようやく完成します。

報恩講には間に合いませんでしたが、十二月二十日完工予定で現在急ピッチで工事が進んでいます。古い建物に増築することは難しく、この間紆余曲折がありました。関係者の努力で正月には新装なった法光寺にお参りいただけです。

これで一昨年の蓮如聖人御遠忌関連の事業がすべておわります。

本山、別院の報恩講について

前ページでもふれましたが、本山本願寺の報恩講は十一月二十一日から二十八日まで勤められます。期間中は朝

七時、午前十時、午後二時の法要とそ
の間の法話のほか、夜のコンサートや
シンポジウムなど盛りだくさんの行事
が行なわれます。

詳しくはお寺にお聞き
ください。

名古屋別院の報恩講

は十二月十三日から十
八日です。別院でも、

本山同様多くの行事が
行なわれます。詳しい

パンフレットがありま
すので、法光寺の報恩

講の折に配布いたしま
す。今年は特に「ごく

らくらく」と題して
落語の公演も行なわれ
ます。チケットは別院

であつたっておりますが、法光寺でも
取り扱いますので、希望の方は申し
出ください。